

令和3年度学校評価（保護者及び職員）に対する自己評価

令和4年2月16日

学校法人佐賀学園 神野こども園

園長 宮崎 祐治

◇ 評価結果より（昨年度との比較）

- 1 総合的な見地からは、保護者及び職員の評価の数値は、昨年度とほぼ変わらないといえるだろう。
- 2 具体的に見てみると、保護者から評価では、昨年度よりマイナスとなった項目が6項目、プラスになった項目が4項目であった。
項目⑳「環境整備や清掃が行き届き」が0.1ポイント下回っている。さらに、0.05ポイント以上下回った項目は、⑭「避難訓練、交通指導等の安全対策の指導」が0.08↓、⑦「食育への取り組み」が0.08↓、④「食事の際の基本的生活習慣の指導」が0.07↓、㉑「このサロンを通しての子育て支援の取り組み」が0.06↓、㉒「預かり保育の受付で安心して預けられる」が0.06↓となっている。
プラスとなった項目は、⑬「バス位置情報サービスが役立つ」が0.13↑、⑧「園での生活体験が豊かな情操に繋がっている」が0.1↑、⑫「バス送迎時の職員の挨拶」が0.06↑、⑪「園に行くのを楽しみにしている」が0.06↑となっている。
- 3 職員の評価では、全体的にマイナス評価となった項目が多く（8項目中0.1ポイント以上マイナスが5項目）、プラスとなった項目は2項目しかなかったが、項目⑲は0.15↑、項目⑥は0.11↑でいずれも0.1ポイント以上のプラスだった。
マイナスになった項目は、項目⑧が、0.3↓、項目⑫が、0.22↓、項目⑬が、0.17↓、項目①「園児や保護者に対する気持ちのよい対応」が0.14↓、項目⑭が0.12↓、項目㉒が0.1↓だった。項目③、項目⑩、項目⑰は、0.08↓、0.07↓だった。
- 4 保護者の評価よりも職員の評価がより厳しいものになった。
- 5 保護者の評価と職員の評価が相反する項目が見られた。
- 6 項目③と⑩と㉑については、保護者評価はプラス、職員評価はマイナスだった。
- 7 どちらの評価もマイナスになった項目は、項目⑦「食育」と⑭「安全対策指導」と㉒「このサロンなどの子育て支援」だった。

◇ 評価に対する改善措置について

- ① 昨年度よりプラスポイントになった項目やほとんど変わりがなかった項目については、引き続き今後も取り組みを継続、強化し、数値の減少がないように努めたい。
- ② 昨年度よりも大きくマイナスポイントとなった項目については、その原因を探り、下記のような改善策を講じたいと考える。

<具体的な改善措置>

- ・項目⑳の「環境整備や清掃の行き届き」については、現状も1日朝夕に清掃を行っているが、今後は清掃の機会を1回増やし、各保育室や廊下の清掃と室内の整理整頓にも努めたい。
- ・項目⑭の「安全対策指導（避難訓練、交通教室）」については、避難訓練を必ず月に1回は実施しているが、保護者、職員の評価が共に昨年度より減少しているため、その取り組みの内容を具体的に保護者に知らせていき、取り組みについての理解を深めるために園だよりやクラスだよりなどを今以上に工夫して発信していきたい。
- ・項目④、⑦の「食育や食事のマナーや食生活習慣の指導」については、各担任とも話し合いながら、機会あるごとに指導の強化を図るよう促していきたい。
- ・項目㉑、㉒の「このサロンなどの子育て支援の充実」、「預かり保育の充実」などについては、保護者向けの子育て支援の望ましい在り方について、他園の情報なども取り入れて、今以上に充実させたい。
- ・職員評価項目③「園児が伸び伸びと過ごせるような支援の在り方」については、昨年度よりも低く、全項目の中でも低い数値を示しているため、この点については、各担任の保育実践力の向上を図って、子供たちの園生活や遊びの充実を図るよう指導していきたい。
- ・職員評価項目①、②については、職員の礼儀や対応、接遇に関する内容なので、この点は、強く指導を行い、保護者、来園者に対しての挨拶、礼儀、笑顔での対応力などの向上を図る園内研修を行いたい
- ・職員評価項目の中で最もポイントが低かった⑤「主体性、創造性、社会性、人と関わる力育成に努める保育」や⑯「日々の保育の内容を来園者に知らせる可視化の努力」については、園の保育方針にかかわる大きな重要な課題であるため、職員全員で保育の振り返りを今以上に行き、どこを改善、努力すればよいかを各担任で考え、努力目標をもって実践させ、保育力の向上を図りたい。そのために、園内研修、他園見学研修、講師の講演拝聴などの研修力も高めていきたい。